

ALSHARD SAVIOR RPG

3レベルクエスト シナリオ

お姫様はクエスト

Ver.24

ライティング：あるば <http://ikefukurou.sakura.ne.jp/alba/>

イラスト提供：ジュエルセイバーFREE <http://www.jewel-s.jp/>

魔法陣提供：<http://ayaemoskr.jp/>



プリプレイ

■最初にお読みください

本記事は『アルシャードセイヴァーRPG』(以下、AL2)のシナリオである。プレイヤーとしてこのシナリオを遊ぶ場合は読んでほならない。本シナリオを利用してセッションを行うためには基本ルールブックである『アルシャードセイヴァーRPG』(発売：エンターブレイン)を必要とする。

シナリオの読み方、ルール用語、ゲーム用語などは全て『AL2』に準じている。必要に応じてルールブックを参照すること。

特にシナリオの読み方については、『AL2』P376を参照のこと。

■シナリオデータ

プレイヤー：3~5人 プレイ時間：4~5時間

PCレベル：3

必須環境

『アルシャードセイヴァーRPG』

『アルシャードセイヴァーRPG上級ルールブック』

■シナリオ背景

西欧の小国ロマンシャンは中東の国家アブラギスタンの王家と友好関係にあった。二国の王は、互いの王女と王子を婚約させ、永遠の絆を誓い合った。

それから時が経ったある日、ロマンシャンの王女、ロゼッタはクエストとして覚醒した。活動的な性格の彼女は、クエストとして奈落を倒すために活動すると大張り切り。クエストとしての心得を勉強するために、単身、日本へと留学してし

まう。

要人である彼女をほったらかしにするわけにもいかず、FGH他、クエスト組織はPCたちに彼女の指導を依頼する。PCたちとロゼッタは手始めに、七瀬市にあるクリーチャーのたまり場……幽霊異人館の大掃除を任せられる。

しかし、そこで待ち受けていたのは、アブラギスタンの王子。にしてロゼッタの許嫁……アビスフィアンセだった。PCたちが、アビスフィアンセを倒せば、本シナリオは終了する。

●今回予告

クエスト……それは神の加護を授かりし存在。

奈落の侵攻からブレスフィアを守る、誇り高き英雄たち。

しかし、誰にだってはじめてはある。

それは、クエストだって同じこと。

西欧の小国からやってきたひとりのプリンセス。

彼女はシャードに選ばれたばかり……

ワカバマークのクエストだった。

「お願いします。わたくしに、

クエストのいろはを教えてください……！」

そして始まったお姫様のクエスト留学。謎に満ちた幽霊異人館、襲い来るクリーチャー、暗躍するアビスフィアンセ。

果たしてクエストたちは、無事、はじめてのクエストを成功させる事ができるのか？

ALSHARD SAVIOR RPG

お姫様はクエスト



ALSHARD SAVIOR RPG

お姫様はクエスト

蒼き星にまた奇跡が生まれる。

■キャラクター作成

今回予告を読み上げた後、ハンドアウト（別ファイルに記載）を各プレイヤーに配布せよ。どのプレイヤーにハンドアウトを渡すかは、GMの任意にしてもよいし、プレイヤーに選択してもらってもよい。プレイヤーの人数が少ない時は、若い番号のものを優先すること。

●シナリオハンドアウト

ハンドアウトには各PCによって異なる事前情報と、シナリオによってPCに与えられる因縁が記載されている。

今回予告を読み上げたのち、GMはシナリオハンドアウトの内容を読み上げて、各プレイヤーに配ること。その後、ハンドアウトに沿ってPCを作成してもらうとよい。

●クイックスタート

プレイヤーが『AL2』を初めて遊ぶ場合や、ルールブックを持っていないならクイックスタートでキャラクター作成を行うとよい。

本シナリオでは、次のサンプルキャラクターをクイックスタートで使用することを推奨する。

PC①：救世候補者（『AL2』P46）

PC②：戦闘魔術師（『AL2』P50）

PC③：神秘の継承者（『AL2』P48）

PC④：埋葬人（『AL2』P52）

PC⑤：マシンメイデン（『AL2』P54）

●推奨カバー

PCのカバーは以下を推奨する。

PC①：指定なし

PC②：指定なし

PC③：指定なし

PC④：葬儀人

PC⑤：指定なし

●コンストラクション

プレイヤーがルールを知っていて、ルールブックも所持している場合、コンストラクションでキャラを作成してもよい。

各PCにはハンドアウトで推奨されるカバーを取らせ、またハンドアウトに付随する設定についてはGMから説明を行うこと。

●PC間コネクション

キャラクター作成後に、プレイヤーにPCの自己紹介してもらおう。その後PC間のコネクションを決定すること。PC間コネクションの結び方は以下のとおり。

PC①→PC②→PC③→PC④→PC⑤→PC①

■プリンセスアクションチャートについて

本シナリオでは、レコードシートやセッションシートなどの他にプリンセスアクションシートというシートを用いる。プリンセスアクションシートにはプリンセスアクションチャートが掲載されている。コピーまたは印刷して、使用すること。



オープニングフェイズ

●シーン1：クエスター留学

シーンプレイヤー：PC②

◆解説

PC②の導入シーン。知己であるロマンシャン王家を訪ね、ロマンシャン王から依頼を請ける。

▼描写

西欧、ロマンシャン王国……観光産業と農業で栄える、素朴な小国家だ。ロマンシャン王と呼ばれたキミは、その宮廷へと足を踏み入れた。

玉座に腰掛けているのは、憔悴したロマンシャン王の姿だった。いつもは立派にとがっているお髭も、今では元気を失いしおれている。いったいどうしたというのだろう？

▼セリフ：ロマンシャン王

「おお、キミか。待っておったぞ……救国の英雄、PC②よ」「話というのはほかでもない。キミもおぼえているだろう。私の愛しいひとり娘であるロゼッタのことだ」

「ほんの少し前、ロゼッタがクエスターとして覚醒してしまったのじゃ」

「だが、我が国にはキミのようなクエスターを援護する組織はなにひとつないのだ。姫にクエスターについて教えらえる者もいなくての。そこで一流のクエスターであるキミを招聘したわけなのじゃが……」

「しかし、一足遅かったのじゃ。ロゼッタは、クエスター先進国である日本に留学するといって、ひとり渡航してしまったのじゃ……！」

「た、頼む。どうか、日本に行って、私の代わりにロゼッタを守ってやってくれ……。もし姫に万が一の事があれば、王家の権力のすべてを結集して、ひどいことをしてやるぞう……！」

◆結末

PC②が引き受けたら【クエスト：ロゼッタ姫を護衛する】を渡し、シーン終了。

●シーン2：灰原古凜の懊悩

シーンプレイヤー：PC③

◆解説2

PC③の導入シーン。灰原古凜からロゼッタ姫の教育係に任命される。

▼描写

カラオケボックスフォーチュン。灰原古凜は力ない笑顔で君を歓迎すると、早速話を切り出した。

▼セリフ：灰原古凜

「実は北欧の小国、ロマンシャン王家から娘さんをお預かりすることになったのです」

「なんでも最近、シャードの力に目覚められたとか……けれどロマンシャン王国にはクエスターの支援組織はありませんから、ぜひ日本に留学したいということです」

「熟練のクエスターであるあなたの指導によって、彼女にクエスターとしてのイロハを教えてください」

「いいですか！ くれぐれも……くれぐれも粗相のないように頼みますよ！ もし姫君の身になにかあれば、ことは外交問題ですからね！ ああ、胃が痛い……」

◆結末

PC③が依頼を引き受けただけなら、【クエスト：新人クエスターを育てる】を渡し、シーン終了。

●シーン3：ブラックロータスの心痛

シーンプレイヤー：PC④

◆解説

PC④の導入シーン。ブラックロータスから、ロゼッタ姫を守るように依頼を受ける。

▼描写

君を呼び出したブラックロータスは、深刻な面もちで話を切り出した。

▼セリフ：ブラックロータス

「よく来てくれた……葬儀人PC④」

「西欧のロマンシャン王国の王女が、この七瀬の地にやってきている」

「ロゼッタ姫の到着と共に、七瀬市における奈落の気配が濃くなってきている。もしかすれば、彼女を狙うダークレイスがいるのかもしれない」

「ロマンシャン王家は、クエスターこそ輩出していないものの、古くから魔術結社を支援してきた家柄だ。我らFC社とも深い繋がりがある。このまま事態を座視するわけにはいかないのだ」

「葬儀人PC④。FGHと協力し、彼女を奈落の手から守るのだ」

◆結末

PC④が依頼を引き受けただけなら、【クエスト：奈落の手から姫

を守る】を渡し、シーンを終了する。

●シーン4：奈落のタキシード

シーンプレイヤー：PC⑤

◆解説

PC⑤の導入シーン。ロゼッタ姫を狙うダークレイス、アビスフィアンセと接触するシーン。

▼描写

その日、いつものとおり七瀬市に巣食う魔物たちを追っていたキミはあの男に出くわした。純白のタキシードを纏った謎の奈落。アビスフィアンセ……あのダークレイスはたしかにそう名乗った。

▼セリフ：アビスフィアンセ

「ふはははは……！ 素晴らしい、これがアビスシードの力か。これさえあれば、ロゼッタ姫も……」

「ふふ、キミに関わっている暇はないのだ。花嫁を迎えにいかなければならぬのでね……」

◆結末

その後、君はFGHから連絡を受けた。ロマンシャン王国の姫君であるロゼッタの、護衛をしてほしいというのだ。君はアビスフィアンセの言葉を思い出した。PC⑤に【クエスト：アビスフィアンセの野望を止める】を渡し、シーンを終了する。

●シーン5：運命の出会い

シーンプレイヤー：PC①

◆解説

PC①がロゼッタ姫と出会うシーン。単身、来日したロゼッタ姫は、七瀬駅で奈落に襲われたところを、PC①に助けられ

る。

▼描写

それは何の変哲もない、平凡な一日のはずだった。

キミが七瀬駅の改札をくぐると、不意に奈落の気配を感じる。

キミの前方でスーツケースを引きずる少女に、襲いかかった。

▼セリフ：奈落

「グオオオオオオツツッ！！」

▼セリフ：ロゼッタ姫

「ここが日本の七瀬市ですか……私はこの街で留学生活を送るのですね」

「きゃあああああ……っ！」

▼描写2

君はいつものように奈落を撃退した。金髪碧眼の少女はきらきらした瞳で君を見上げていた。

▼セリフ：ロゼッタ

「すごい……こんなに鮮やかに、あの怪物たちを撃退してしまうなんて……」

「わ、わたしも、クエスターなんですっ！ まだなりたてで、へっほこんなんですけど……でも、あなた様の戦いをみて、とても感動しました」

「私、ロゼッタ・ロマンシャンって言います。七瀬市にクエスターの勉強をするために、留学してきたんです」

◆結末

ふわふわのドレスに、くるくる巻き毛。長くカールした瞳の向こう側には、星空のように煌めく瞳が覗いている。まるで、童話の中から抜け出してきたようなお姫様！ そんな可憐な女の子に頼られちゃ、断れるわけないだろう……？

【クエスト：ロゼッタ姫を導く】を渡し、シーンを終了する。

■ロゼッタ・ロマンシャン

アルケミスト/レジェンド（エキストラ）

西欧の小国、ロマンシャン王国の姫君。箱入り娘として育ったが、16歳の誕生日プレゼントに父王に贈られたブローチが、シャードだったため、クエスターとして覚醒した。お人形のような可憐な外見だが、父王の反対を押し切って、単身日本にやってくるなど、けって見た目どりのお姫様ではない。

彼女はクエスターではあるものの、まだその力をじゅうぶんに制御できていない。そのため、冒険開始時点で加護を扱うことはできない。



ミドルフェイズ

●シーン6：はじめてのクエスト

シーンプレイヤー：PC②

◆解説

全員集合。FGHからロゼッタ姫を同伴して、クリーチャー退治に赴くようにとの指示を受ける。また以降のシーンでは購入判定ができなくなるため、今のうちにすませておくようにPCに促すこと。

▼描写

君たちはカラオケルームの一室へと集められた。ロゼッタ姫は物珍しそうにきよろきよろとあたりを見回している。

▼セリフ：灰原古凜

「ようこそ、ロゼッタ姫。FGHはあなたを歓迎します。ご安心ください。彼らは皆、歴戦のクエスターですから。あなたの初任務をしっかりサポートしてくれるはずですよ」

「では、早速のお仕事です。北七瀬から徒歩20分ほど……北を走る国道のはずれ、山間に古い洋館が建っています。明治時代、魔術師が建てた屋敷で、今は魔術師連盟の管理となっていますが、実質ほったらかしです。通称、幽霊異人館」

「ここはマナの吹き溜まりのような場所に位置しています。クリーチャーが頻繁に発生するので、フォーチュンから定期的にクエスターを派遣しているんです」

「ひと通り、部屋を見て回って、クリーチャーを退治してください。本来であればベテランのあなたたちにさせる事ではありませんが、ロゼッタ姫にはいい経験になるでしょう」

▼セリフ：ロゼッタ姫

「心に宿るこの気持ち……そう、これがクエストなんですね！」
「こうなっては、クエスターとして後にひくわけにはまいりません。この冒険、見事やりとげてみせます！」

◆結末

全員が了解したら、【クエスト：ロゼッタ姫の冒険を成功させる】を全員に与え、シーン終了。

●シーン7：いざ、幽霊異人館へ！

シーンプレイヤー：PC③

◆解説

全員登場。任務の舞台である、異人館の扉をくぐるシーン。

▼描写

北七瀬から20分ほど、山間にその洋館は建っていた。荒れ放題の庭にはマナの影響で過剰成長した植物が蔓を伸

ばし、洋館全体を覆い尽くしている。ロゼッタ姫が南京錠に手をかざし、《ロック》を唱えると鍵が外れ、扉が開いた。雨露で錆びた表面から、塗料がぱらぱらと欠片になって落ちる。

▼セリフ：ロゼッタ姫

「それではみなさま、未熟者ですが、どうかご指導よろしくおねがいします！」

「あら……見てください。あの石像、今こちらをジロリとみましたよ……!？」

▼セリフ：ガーゴイル

「おや、おまえらはFGHのクエスターか……」

「俺はこの異人館の雨樋だ。どうもこの石像はマナが蓄積しやすいらしくてな。何度退治されてもこうしてまた意志をもつちまう。まあ、今更人間を脅かそうなんてつもりはないから、最近はほうっておいてもらえるかな」

「中の連中にあんまり騒がれちゃ困るんだよ。近所のカキどもが肝試しにきちまうんでな。危ないだろう？ それじゃ、よろしく頼むぜ……」

◆結末

PCたちが屋敷の中に入っていたなら、シーンを終了する。

■プリンセスアクションチャート

以降のシーンから、シナリオルールであるプリンセスランクとプリンセスアクションチャートを使用する。チャートについては別紙を参照すること。

プリンセスランクはロゼッタ姫が、クエスターとしてどれだけ習熟しているかを示している。初期のプリンセスランクは0で、最大は15である。

プリンセスアクションチャートは、プリンセスロールを行う際に使用する。シナリオ中にプリンセスロールを行うという指示があった場合、PCの代表者は1Dを振り、それにプリンセスランクを足した値の項目を参照する。その項目の内容を適用した上で、プリンセスランクを1上昇させる。

プリンセスロールを行う場面は以下のとおりである。

- ・PCあるいはGMがクリティカルを出した場合。
- ・PCがメジャーアクションを使い、プリンセスロールを行う

ことを選択した場合。

・シーンの解説に、プリンセスロールを行うよう指示があった場合。

プリンセスランクが15に達したならば、以降はプリンセスロールは行わない。

シナリオ終了時のプリンセスランクが【クエスト：ロゼッタ姫の冒険を成功させる】の経験点となる。

プリンセスアクションチャートの結果は、PCがもっている加護ひとつを使用済にすることで、キャンセルできる。

戦闘でもFS判定でもないシーンは、1ラウンドとみなす。

なお、プリンセスロールの結果は即座に適用されるが、GMがセッションの流れを妨げると判断した場合には、効果の適用を先送りしてもよい。また、プリンセスアクションチャートの結果が連続で同じ項目になった場合、振り直しを認めてもよい。



●シーン8：はじめてのたたかい

シーンプレイヤー：PC④

◆解説

全員登場。戦闘を行う。ヘルハウンド(『AL2』P367)×2が5メートル地点に1エンゲージ、ガーディアンボール(『AL2』P368)×2が10メートル地点に1エンゲージ。ロゼッタ姫はエキストラとして扱うが、配置しない。

各ラウンドの最初(セットアッププロセスの冒頭)でプリンセスロールを行うこと。

▼セリフ：ロゼッタ姫

「これがクリーチャー……マナの蓄積によって生まれたモンスターですね。教科書で勉強しました！」

「機械でさえも、マナによって怪物と化してしまうのですね」

「実践ははじめてなんです。がんばりますわ！」

◆結末

戦闘終了と共に、シーンを終了する。



●シーン9：幽霊異人館を大掃除！

シーンプレイヤー：PC⑤

◆解説

全員登場。FS判定を行う。詳細は後述。各ラウンドの最初(セットアッププロセスの冒頭)でプリンセスロールを行う。FS判定に失敗したならば、PC全員の【MP】が0となり、シーンを終了する。

FS判定はPC人数5人を想定している。PC人数が4人であればFS判定の完了値を12に変更する。PC人数が3人であれば10に変更する。

▼描写

はじめての戦闘を終えたロゼッタ姫と君たちは、そのままの勢いで洋館の大掃除にとりかかった。

◆結末

FS判定を終了したならば、シーンを終了する。

●シーン10：石油王子のアンニュイ

マスターシーン

◆解説

PCは登場不可。アビスフィアンセのキャラクターを印象づけるシーン。

▼描写

今をさかのぼること一ヶ月前。七瀬市から遠く離れた中東の国家、アブラギスタン。恰幅のいい男と、褐色肌の美青年が大理石の浴場で会話を交わしている。ブルースフィアにその名を知られた石油王アブラ。そして、その息子である石油王子アブラである。

▼セリフ：石油王アブラ

「どうした、せがれよ。なぜそんなに憂鬱な顔をしているのだ」「ほら、石油風呂で汗を流すがいい。そして、石油の匂いを漂

●シーン8：はじめてのたたかい

このシナリオの障害は、プリンセスアクションチャートと連動しているため、シナリオ全体でのラウンド数が著しく変化するような改造はおすすめしない。このシーンでの戦闘は、敵が2ラウンドもちこたえることを想定して、設計されている。プレイヤーが『AL2』に慣れている場合、3ラウンド戦えるように敵を強化してもよいだろう。コンストラクションのPCに合わせて戦闘を改造する場合も、この数字を基準にするとよい。

わす美女たちをはばらせ、石油ワインに舌鼓を打つ。これこそ、我ら石油王族の嗜みであろう。心配することはない。金ならいくらでもあるのだ……」

「まったく、おまえは気難しいな。金で買えぬものなどない。ワシは父上にはそう教わったものだがな……」

「ロマンシャンの姫君のことか？ 心配するな。ワシとロマンシャン王の間で、既に婚姻のとりきめを交わしてある。20歳の誕生日にはおまえのものになるだ。そう、焦ることもないだろう」

▼セリフ：石油王子セアブラ（アビスフィアンセ）

「父上、わたしがほしいのは金で買えるものではないのです。ああ、ロゼッタ姫……彼女の笑顔だけが、私の心を癒してくれる」

「違う、そうじゃない。僕は彼女の心がほしいんだ！なのに、よりによってクエスターになってしまうなんて……女の子が冒険や奈落退治なんて！ 危ないじゃないか！」

「女の子はおしとやかでないといけないうに……なんで、そんなことを……」

◆結末

「ふふ……ならば、私があなたを助けてさしあげましょう」石

油王子セアブラの背後から、そう声がかげられる。「だ、誰だ！」セアブラが振り向くと、そこには闇色に輝く種子をもつ、レイスナイトが立っていた……。

シーンを終了する。

●シーン11：奈落のメッセージ

シーンプレイヤー：PC①

◆解説

全員登場。アビスフィアンセが残したメッセージを発見するシーン。GMはアビスフィアンセとロゼッタ姫のすれ違いを、印象的に描写するよう心がけること。

▼描写

幽霊異人館のクリーチャーたちはひと通り退治し終えたはずだ。しかし、どうもおかしい。濃厚な奈落の瘴気が、屋敷全体をとりまいている。

キミたちが警戒しながら進んでいると、屋敷の壁にぼつと光の文字が浮かび上がった！

▼セリフ：謎のメッセージ

『ふふ、僕のやんちゃな子猫ちゃん。キミのことを思うだけで、高鳴るハート。僕の愛は石油採掘ノンストップ。煌めく水晶のような乙女心で、どうか僕のことを想っておくれ』

名称		幽霊異人館を大掃除										制限人数	なし													
終了条件		5ラウンド経過					経験点					3点					支援判定		すべての能力ボーナス							
進行判定		判定値		難易度		進行判定		判定値		難易度		進行判定		判定値		難易度										
初期		【反射】		10		イベント2		【知覚】		11		イベント4		【体力】		12										
イベント1		【意志】		12		イベント3		【理知】		11		イベント5		【幸運】		11										
進行値	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20						
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40						

このFS判定は、幽霊異人館に巣食うクリーチャーたちを退治するものだ。この古ぼけた洋館のあちこちをクリーチャーが徘徊している。それどころか敵はクリーチャーだけではないようだ。濃厚な奈落の気配があたりに充満し、奈落クリーチャーたちが闇の奥でPCたちを狙っている。各ラウンドの最初（セットアッププロセスの冒頭）でプリンセスロールを行う。またメジャーアクションを使うことで、プリンセスロールを行ってもよい。5ラウンド目までに大掃除が終わらなかった場合には、【MP】が0になってFS判定は終了となり、次のシーンとなる。

●イベント
初期：あちこちで飛び回る魍魎魍魎の数々。スプーンやフォークがクリーチャー化し、鼠たちがびよんびよん飛び跳ねる。難易度10の【反射】判定を行う。
進行度4：小物はあらかた片付いた。けれど、ここからが正念場だ。この古ぼけた洋館には、不思議な仕掛けがいっぱいあるのだ。難易度12の【意志】判定を行う。
進行度6：ちょっと知恵のついたクリーチャーは、キミたちの大騒ぎで、あちこちに隠れてしまった。探し出さないとイケない。難易度11の【知覚】判定を行う。

進行度8：隠れているクリーチャーたちの様子がどこかおかしい。熟練のクエスターであるキミたちの力をもってしても、これは容易な敵ではない。なにものかがこの屋敷に潜んでいるのかも……。難易度11の【理知】判定を行う。
進行度10：あちこちから漂う瘴気……これは奈落の気配だ！ 奈落クリーチャーが襲い掛かってくる。難易度12の【体力】判定を行う。
進行度13：強力な奈落クリーチャーとの攻防戦。一進一退の戦いが続く。きっかけひとつでこの均衡は一気に崩れるだろう。チャンスをものできるかどうか。あとは運否天賦。難易度11の【幸運】判定を行う。

『キミが恋する男の名は、アビスフィアンセ。はたして、僕の
ところまで、辿り着くことができるのかな……?』

▼セリフ：ロゼッタ姫

「なんと禍々しいメッセージでしょう……。意味はよくわかり
ませんが、なにか古より伝わる邪悪な呪文に違いありません」

『子猫ちゃん』とはおそらくエジプト神話における猫の女神、
バステトのことでしょう。ファラオとその守護者たるバステト
の関係を、女神ガイアとクエスターに見立てているのです」

「つまりこのメッセージは『我は神の加護を受けしクエスター
などおそれはしない。その心臓（ハート）を我に捧げ、贅とす
べし。貴様のシャードの力は、すでに我のものだ』……という
宣戦布告だと考えられますわ。およそ人間が考えたとは思えな
い、恐ろしいフレーズです」

「ふふ、どうでしょうこの解釈は。数秘学や象徴学はしっかり
予習してきたんです。えっへん♪」

「アビスフィアンセ……彼がこの幽霊異人館に徘徊する奈落
の原でしょうか。いったい何者なのでしょう……?」

◆結末

メッセージはPCたちが読み終わると、燃え上がって消えて
しまう。あたりにはつんと鼻をつく油の匂いだけが残った。PC
たちが洋館に漂う奈落の気配に疑念をもったなら、シーンを
終了する。

●シーン12：情報収集

シーンプレイヤー：PC④

◆解説

全員登場。情報収集を行うシーン。

情報項目は以下の4つ。ただし、秘密の地下室の情報項目は、
最初は公開されない。情報項目ごとに判定値と難易度が指定さ
れている。情報収集判定に成功すれば、その項目に書かれたす
べての情報が手に入る。

PCが情報収集判定を行うごとに、同時にプリンセスロール
を行う。

すべての情報を得られなかった場合は、シーンを変えて追加
の情報収集を行う。3シーン目以降は、シーン開始と同時にPC
全員のHPとMPを2D点失わせること。

▼ロゼッタ姫（【意志】、難易度10、《情報：噂話》《情報：魔法》 《情報：メディア》）

西欧の小国、ロマンシャン王国の姫君。おしとやかでお人形
のような外見とは裏腹に、活動的な性格で知られる。

アブラギスタンの石油王子セアブラと婚約している。

結婚してからも、積極的にクエスター活動を続けていきたい
と考えているが、婚約者はそれを快く思っていないようだ。

▼アビスフィアンセ（【意志】、難易度10、《情報：噂話》《情報： 魔法》《情報：メディア》）

幽霊異人館の裏で徘徊する謎のダークレイス。奈落の怪物た
ちを使役して、ロゼッタ姫のクエストを妨害しているようだ。

その正体は、中東の産油国、アブラギスタンの石油王の息子
セアブラ。褐色肌の美青年であり、飾らない人柄で知られて
いる。国民の間でも人気が高い。

ロマンシャン王国のロゼッタ姫の許嫁であり、セアブラ王
子の成人と同時に、正式に結婚する予定。ロゼッタ姫がクエ
スターとして活動することには、反対しているようだ。

▼幽霊異人館（【理知】、難易度12、《情報：魔法》《情報：ウェ ブ》《情報：メディア》）

七瀬市のはずれ、山間にある古い洋館。明治時代にオランダ
の魔術師が建てた。現在は魔術師連盟の管理下に置かれている。

地形的にマナの吹き溜まりに位置しており、定期的にクリー
チャーが発生してしまう。そのためFGHが定期的にクエス
ターを派遣しているようだ。

秘密の地下室があると言われているが、その入り口は不明。
かつて、そこでは空間のマナを結晶化する研究が行われていた
と噂されているが、真偽は不明。

幽霊異人館の情報項目を開示すると、新たに以下の情報項目
が提示される。

▼秘密の地下室（【知覚】、難易度15、《情報：魔法》《情報：異 世界》）

魔法によって隠されていた、地下室への入り口を発見した。
この向こうでアビスフィアンセが待ちかまえているのだろう。

◆結末

すべての情報が出揃ったら、次のシーンへ。

●シーン13：明日への扉

シーンプレイヤー：PC②

◆解説

全員登場。地下室へと突入する直前のシーン。

▼描写

君たちの目前には、長年隠されてきた地下室への扉がある。この向こうにアビスフィアンセが待ちかまえているはずだ。ロゼッタ姫は緊張に、小さな胸を震わせた。

▼セリフ：ロゼッタ姫

「そんな……私の婚約者が、奈落の陰謀に関わっているなんて。運命とはなんて残酷なのでしょう」

「わたくし、あの方を止めなくてはいけません……皆さん、どうか力を貸してください……！」

◆結末

PCたちが地下室への階段を降りたなら、シーン終了。

●シーン14：石油王子出現

シーンプレイヤー：PC③

◆解説

全員登場。幽霊異人館の地下室で、アビスフィアンセと対面するシーン。

▼描写

扉を開くと、そこにはキミたちの想像を遙かに超える、広大な空間が広がっていた。『アラビアンナイト』に描かれた世界を彷彿とさせる、豪華絢爛な中東風の宮殿だ。

その隣に建っているのは、石油の採掘施設。そこからは、奈落の瘴気を漂わせる漆黒の液体が汲み上げられていく。

そう、そこはまさに中東の産油国のミニチュア版——そんな世界のただ中で、褐色肌のダークレイスは、漆黒の液体の入ったワイングラスを君たちに向かって掲げてみせた。

▼セリフ：アビスフィアンセ

(グラスを傾けながら)「ああ、なんてかぐわしい香り。石油は、至上の健康飲料……太古の生命のエキスが、僕の身体の隅々ま

でみちみちていく……」

「僕がこの幽霊異人館の現在の主……アビスフィアンセさ。よここまでたどり着いたね」

「ロゼッタ姫の憧れるクエスターの仕事が、いかに危険かわかってもらえれば、彼女も考えを変えようと思った……だから、僕はダークレイスになって、彼女が派遣されるこの屋敷に、奈落の怪物たちを放ったんだ」

「この光景を見て、驚いたかい？ かつてこの地に居を構えた魔術師はマナの吹き溜まり……つまりパワースポットからマナを汲み出し、精製することでエネルギー源として活用する研究していたんだ。今で言うところのマナクリスタルだね。しかし、当時の技術では実現は難しく、研究は途中で頓挫してしまった」

「しかし、空間のマナを精製できるなら、同じようにして、奈落を精製することだってできる。そうして、僕が残されていた装置をもとに、完成させたのがこの奈落石油採掘装置というわけさ」

「この装置から汲み出される『厳選・石油王子の特濃奈落石油』は飲んでよし、ごはんのおかずによし、お肌に塗ってよしの新時代の石油。そしてこの奈落石油を摂取した人々は、ダークレイスとして覚醒するんだ。僕はこの地を拠点に、全世界にこの奈落石油を輸出し、新世代のオイルマネーを築くのさ……！」

「その玉座に座るのは僕。そして隣にいるべきは……キミだよ、ロゼッタ姫。さあ、クエスターなんて危ないことはやめてこっちに来るんだ。僕といっしょに帰ろう……」

◆結末

アビスフィアンセはロゼッタ姫へと手を差し出す。シーンを終了し、クライマックスフェイズへと移行する。



クライマックスフェイズ

●シーン15：プリンセス&プリンス

シーンプレイヤー：PC④

◆解説

戦闘を行う。敵は20メートル地点にアビスフィアンセ×1。10メートル地点にアビスマルディゾナンス×3が1エンゲージとなる。ロゼッタ姫はエキストラとして扱うが、配置しなくてよい。

各ラウンドの最初（セットアッププロセスの冒頭）でプリンセスロールを行うこと。ロゼッタ姫のプリンセスランクが15に到達していれば、ロゼッタ姫は任意のタイミングで《ガイア》を使用する。効果はプレイヤーが決定してかまわない。特に方針がないようであれば、PCがもつ加護のひとつと、同じ効果として使用する。

またアビスフィアンセはクリンナッププロセスにオリジナル特技《オイルマネー》を使用する。これは財産ポイントを増加+1000する効果を持ち、アビスフィアンセの財産ポイントが5000になった時点で、PCの敗北となる。

▼描写

幽霊異人館の地下に広がる空間。そこで今、クエスターとダークレイス……ふたつの運命にわかたれた男女の戦いが始まろうとしていた。

▼セリフ：ロゼッタ姫×アビスフィアンセ

「私、思うんですけど、結婚してからも、お互い好きなことをして過した方が、人生を楽しめるんじゃないかしら？ 私、あなたの妻になってからも、クエスターとしていっぱい冒険したいんです！」

「結婚に不満があるわけじゃありませんの。私、セアブラ様のこと、好きですよ？ お父様が選んでくださった方ですし、いい方だって思いますもの。けれど、それはそれ、これはこれですの！」

「違う！ 僕はそんななあなあの気持ちで、結婚するのは嫌なんだ。親が決めたからなんて理由じゃ、悲しすぎる。男と女が結ばれるっていうのは……もっと幸せなものはずなんだ」

「僕は、君と幸せな家庭を築きたいんだよ。僕が王としての仕事を終えて帰ってくると、晩ご飯を作っていた君が笑顔で『おかえりなさい』と迎えてくれる……。宮廷を満たす、あたたかい石油味噌汁の香り。それが、夫婦のありかたってものだろう!？」

「それなのに、よりもよってクエスターなんて！ 冒険なんて危ないし、奈落退治なんて女の子のすることじゃないよ！」

「思いつき拒否してくれるなら、まだ逆転の希望がもてるのに！ 『いい方』なんて言われ方じゃ、かけらも恋の予感がしないじゃないか！」

「こんなに危険な目にあつたのに、君はまだ冒険を求める。君の隣にいるクエスターたちが、君をそそのかしたんだね……」

▼セリフ：ロゼッタ姫

「許嫁同士といえども、今はクエスターとダークレイスです！ お互い、悔いのないよう、全力を尽くして戦いましょう！」

（《ガイア》を使用する）「お願いします。ガイアのカよ。私の愛するクエスターたちを、どうかたすけて……！」

（勝利した）「私たちはきつとどこかで道を違えてしまったんです。もう一度最初からやりなおしましょう……私も、がんばりますから」

▼セリフ：アビスフィアンセ

「……よし、僕は誇り高きアブラギスタンの王子だ。武勇によって己を貫きとおそう。この奈落の方で、君を取り戻す！」

（戦闘開始）「我こそは石油を司るもの、石油王族の血脈なり！」

（敗北した）「ロゼッタ姫……なぜ、僕の気持ちをわかってくれないんだ……」

◆結末

アビスフィアンセは戦闘不能になるとアビスシードが砕け、善良な石油王子セアブラへと戻る。戦闘が終了したなら、シーンを終了する。

エンディングフェイズ

●シーン16：プリンセス・フォーエヴァー

シーンプレイヤー：PC①

◆解説

PC①とロゼッタ姫の別れのシーン。アビスフィアンセこと石油王子セアブラの処遇については、PC達の希望を聞いて、決めるとよい。

▼描写

そして、あっという間にロゼッタ姫との別れの日がやってきた。空巷にはロマンシャン王家のプライベートジェットが陣取り、スーツケースを抱えたロゼッタ姫を待ち受けている。

▼セリフ：石油王子セアブラ

「僕は自分の理想を、彼女に押し付けていたみたいだ。しかし、それじゃダメなんだな。僕は自分の力で、彼女の心を手に入れてみせるよ」

「しかし、とんでもないライバルが現れたものだね……」

▼セリフ：ロゼッタ姫

「私、PC①さんから大切なものを学びました。それはクエストの心です」

「お父様には悪いですけど、このまま王国に帰るわけにはまりません。世界にはクエストの助けを求めている人々がいっぱいいるんですから。さあ、このまま奈落退治の世界一周旅行へ出発です！」

(もじもじとしながら照れくさそうに)「けれど、私はまだまだ未熟なクエストです。傍らに頼もしいナイトがいれば、心強いのですけれど……」

「あなたにもついてきていただきたいのです……ダメですか？」

◆結末

PC①はロゼッタ姫と共に旅立つだろうか、それとも七瀬市で戦い続けることを選ぶだろうか。PC①の決断を描写したならば、シーンを終了する。

■PC②～PC⑤のエンディング

次に提示するのはエンディングの一案である。プレイヤーか

らの要望に合わせて、変更して構わない。

PC②：ロマンシャン王に涙を流して、娘の無事を感謝される。そして、奈落退治の旅に出ようとしているロゼッタ姫の警護を依頼される。

PC③：灰原古凜に労苦をねぎらわれる。今後、幽霊異人館での新人クエスト研修の際には、監督をしてもらえるよう頼まれる。

PC④：ブラックロータスが、少しだけ安堵した顔をみせる。彼は新たなクエストの誕生を喜ぶ。

PC⑤：セアブラから手紙が届く。相変わらずロゼッタ姫に振り回されているらしい。

■アフタープレイ

各々のエンディングを演出したならば、経験点の計算等、アフタープレイの準備に入る。クエスト経験点は、プリンセスランクによって決定される。また、FS判定による経験点の算出を忘れないこと。

アフタープレイ後、シナリオは終了となる。



敵データ

●アビスフィアンセ

◆データ

種族：奈落 レベル：10 サイズ：M

体：20/+6 反：20/+6 知：16/+5

理：14/+4 意：14/+4 幸：16/+5

命：9 回：4 魔：10 抗：3

行：10 HP：180 MP：200

攻：〈斬〉+15/物理

対：単体 射程：至近

防：斬5/刺5/殴5

・【命中値】判定クリティカル値：10

《無限の魔》：【MP】を消費しない。

《致命打撃》：【命中値】クリティカル10。

《特殊属性耐性》：耐性：〈炎〉2D6を得る。弱

点：〈氷〉〈神〉2D6を得る。

《攻撃力UP II》：ダメージを+2D6する。

・[タイミング：常時]のものは計算済み。

◆加護

トール ヘル

ネルガル ヘイムダル

タケミカヅチ エーギル

オーディン プラギ

◆攻撃アクション

・《絶対先制》

タイミング：イニシアチブプロセス

対象：自身 射程：なし 代償：なし

解説：任意のイニシアチブプロセスに行動する。

その後、行動済となる。1シーン1回のみ。

・《なぎ払い》+フレイムソード

タイミング：マイナー+メジャーアクション

判定値：9 クリティカル値：10

難易度：対決 対象：範囲（選択）

射程：30m 代償：なし

攻：〈炎〉2D6+20/物理 射程：至近

解説：魔法の炎を帯びた剣で、攻撃する。

・《アラビアン・アプローチ》（オリジナル特技）

タイミング：メジャーアクション

判定値：10 クリティカル値：12

難易度：対決 対象：範囲（選択）

射程：30m 代償：なし

ダメージロール：〈闇〉4D6+10/魔法

解説：石油王の熱烈な投げキッス。遍く対象

を、魅了する魔法攻撃。実ダメージが1点で

も入ると、対象にバッドステータス：放心を

与える。

・《オイルマネー》（オリジナル特技）

クリンナッププロセスで使用。アビスフィアン

セの財産ポイントを+1000する。アビスフィ

アンセの財産ポイントが5000になった時、世

界経済は完全にアビスフィアンセに支配され、

PCの敗北となる。アビスフィアンセの財産ポ

イントの初期値は0である。

・《ブラックジャック》（オリジナル特技）

戦闘不能になった際に使用する。アビスフィ

アンセの戦闘不能を回復し、【HP】を「アビスフ

ィアンセの財産ポイント÷100」まで回復する。

その後、アビスフィアンセの財産ポイントを0

にする。1シナリオ1回まで使用可能。命さえ

も金で買い取る、石油王の究極奥義。

■戦術

最初のラウンドに《絶対先制》を使い、PCのエンゲージに《アラビアン・アプローチ》を使用する（《ヘル》は使わない）。

以降はPC全員がブレイクするまで、《アラビアン・アプローチ》で攻撃し、ブレイクした後はフレイムソードでの近接攻撃に切り替える。

■PCの人数が少ない場合

PCが4人以下の場合は、クライマックスのデータに以下の変更を加える。

- ・アビスフィアンセのHPを-20する。
- ・加護から《プラグ》を削除。

PCが3人以下の場合は、以上に加えて、クライマックスのデータに以下の修正を加える。

- ・アビスフィアンセのHPを更に-30する。
- ・加護からさらに《オーディン》を削除。

■設定

アブラギスタンの若き石油王子。少々、夢見がちなところはあるものの、まっすぐな心根の好青年だ。しかし、ロゼッタ姫への愛ゆえに、奈落の誘惑に屈してしまった。

石油の産湯に浸かって育ったため、石油を操る能力に長けている。炎の王ならば炎を操り、氷の王ならば氷を操る。ならば、石油王なら石油を操る能力も持っているのが当たり前。それがファンタジーRPGのお約束なのだ。